



福山市 ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化に起因するといわれる気候変動の影響により、世界的に深刻な自然災害が発生しており、国内においても、これまでに経験したことのない猛暑や豪雨災害などによる甚大な被害が発生し、私たちの生活に大きな影響を及ぼしています。

2015年（平成27年）に合意されたパリ協定では、「世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて1.5度に抑える努力を追求する」という目標が掲げられました。そして、これを達成するためには、2018年（平成30年）に公表されたIPCC（気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書において、「2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることが必要」とされています。

こうした国内外の動向を踏まえ、今直面する地球温暖化の課題に対し、本市としても再生可能エネルギーの導入促進や省エネルギーの強化など積極的な対策が求められています。

本市では、現在改定中の「第二次福山市環境基本計画」において、市民、事業者、行政が一体となり、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることをめざしており、「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、チャレンジすることを宣言します。

2023年（令和5年）2月27日

福山市長